

《小学校中学年の部 優秀賞》

「この人はだれ」

有田市立保田小学校 4年

てらさか 寺坂 あやか 彩花 さん



わたしのそうそ母は、今ろう人ホームでくらししています。わたしはたまにそ母と母について行って、そうそ母に会いに行きます。いつも行くとそ母は母の事を指さしてそうそ母に

「この人だれよ？」

と言います。するとそうそ母は母の事が分からなくてちがう人の名前を言ったり、首をかしげたりします。

わたしのそうそ母は「にん知しよう」です。私が小さいころはまだしっかりして家にも遊びに来てくれてオムツをかえてくれたり、面どうをみてくれたりしていたそうですがそうそ父がなくなってからだんだんと物わすれがひどくなり家でそうそ母の面どうをみるのが大へんになったのでろう人ホームに入ってもらうことになったそうです。

わたしは家族とはなれてろう人ホームでくらすそうそ母はさみしくないのかなと思っていたけど、ろう人ホームのしよく員さんは、とても親切にしてくれると聞いて安心しました。

ろう人ホームに入ったばかりのころは、まだ自分の足で立って歩いていたのに今ではもう足が弱くなって車イスでの生活をしています。めったに行かないので前は出来ていた事が次に行くとき出来なくなっていることがあって何だかへんな気持ちになります。話をしていても何回も同じ事を聞いてくるし、毎回行くたびに名前を言わないとわすれているから母がそうそ母の所に行くと言っても正直行きたくないと思ってしまう。

わたしはそうそ母の事を大きいばあちゃんと言っているので母に

「何で大きいばあちゃんと話にならないし、いつも同じ事を何回も聞くのに会いに行くん？行っても楽しくない」と言ったことがあります。その時母は

「会話にならなくても何回も同じ事を聞かれてもお母さんの事わすれられていてもお母さんの事を大切にしてくれた思い出がたくさんあるから大きいばあちゃんが生きている間はなるべく会いに行行って顔を見せてあげたい。」と言いました。

わたしはそれを聞いてからはろう人ホームに行っても積極的に自分から話かけて何回も同じことを聞かれてもいやな顔をせずには答えるようになりました。

わたしは父母やそ父母に助けてもらって生活しています。自分で出来ること

はしますが、出来ないことの方が多いです。そうそ母も昔はそ母のお世話をして助けてきたから、今は助けてもらえるんだと思います。わたしもしよう来、父母やそ父母がこまっている事があつたら助けてあげれるような大人になりたいです。